

平成27年度 全道少年(U-11) 8人制サッカー大会

兼第13回 JA全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー大会函館地区予選 開催要項

- 1 主 旨 少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに8人制サッカーの底辺拡大に努める
- 2 名 称 平成27年度 全道少年(U-11) 8人制サッカー大会
兼第13回 JA全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー大会函館地区予選
- 3 主 催 函館地区サッカー協会
- 4 主 管 函館地区サッカー協会4種委員会・各会場担当チーム
- 5 期 日 2015年8月22日(土) 代表決定戦29日(土)
- 6 会 場 北斗市立浜分小学校グラウンド 代表決定戦:八雲遊楽部公園

- 7 参 加 資 格 ① 「参加チーム」は、本年度実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種及び女子に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)であること(準加盟チーム含)。U-11で構成されたチームであること。
② 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。女子加盟登録チームに属する選手は、4種年代であること。ただしU-6の選手の参加は認めないものとする。
③ 同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
④ 当該チームの全道大会への登録選手が20人に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手の中から補充することができる。
⑤ 引率指導者は、「参加チーム」を掌握指導する責任のある指導者であること。また、うち1名以上が日本協会公認コーチ資格(D級以上)を有すること。
⑥ 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。
⑦ 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
⑧ 本大会の優勝チームは、平成27年度全道少年(U-11)8人制サッカー大会 兼第13回JA全農杯チビリンピック小学生8人制大会北海道予選に函館代表としての出場を義務づける。
- 8 参 加 チーム チーム編成は、指導者4名以内、選手16名以上20名以内とする。
- 9 大 会 形 式 **リーグ戦**
- 10 競 技 規 則 本年度(公財)日本サッカー協会制定の「8人制サッカー競技規則」による。
- 11 競 技 の フィールド ① フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)は50mとする。
② その他ペナルティーエリア等の長さに関しては、8人制サッカールールに準ずる。
③ ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。
④ 自由な交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける。(ハーフウェーラインを挟んで3mずつ)
- 12 試 合 球 少年用4号球を使用する。(公認球)
- 13 競 技 者 の 数 および 交 代 ① 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。6人未満となった場合は不成立とする。
② 登録できる交代要員および交代の最大人数は12名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場できる。交代の回数は制限されない。
③ 交代の手続き
・ 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
・ 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
・ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。但し、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
・ 交代について、審判の承認を得る必要はない。
④ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- 14 競 技 者 の 用 具 ① 競技者の用具については、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従うものとする。
② 選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
③ ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は、正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを参加申し込みの際に記載し、各試合ごとに必ず携行すること。(FP・GK用共)
④ 審判(黒色)と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。
⑤ ユニフォームの色・背番号の参加申し込み以降の変更は認めない。
⑥ ユニホームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会ユニホーム規定に基づき承認された場合のみ許可する。
⑦ 試合開始時のゴールキーパーが着用するユニホームは大会参加申し込みの際に登録したものとする。ただし、試合途中で交代する状況が発生した場合は、ピブス着用を可とする。

- 15 テクニカル エリア ① テクニカルエリア（ベンチ）に入ることができる人数は、交代要員 12名、引率指導者 4名とする。
- ② その都度ただ 1 人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
- ③ テクニカルエリアは設置しない。ただし、監督またはベンチ役員が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後、再度異議を示した時は、主審の判断により監督を退席処分とし、それ以降からのコーチングは不可とする。
- 16 審判員 主審 1 名と補助審判 1 名が指名される。
- 17 試合時間 ① 12分-12分-5分-12分の3ピリオド制とし、インターバルを5分とする。第1ピリオド、第2ピリオドは選手を総入れ替えする事、第3ピリオドは自由。第3ピリオド目の中間点で両チームのコートを入れ替える。（再開方法はキックオフ）
- 競技方法 ② 予選リーグでの順位決定の優先順位は次のようにする。
勝点（勝-3、分-1、負-0）勝ち点と同じ場合は以下の方法で順位を決定する。
（1）当該チーム間の対戦成績
（2）当該チーム間の得失点差
（3）当該チーム間の総得点数
（4）ブロック内の得失点差
（5）ブロック内の総得点数
（6）当該チームでのPK戦
- 18 警告・退場 ① 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ② 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ③ 本大会の異なる試合において2度警告を受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- ④ 大会において退場を命じられた競技者は、4種委員長、大会運営担当4種副委員長、大会担当チーム、4種委員長から委託された2級以上の資格を持つ審判が協議し、函館地区サッカー協会規律委員長へ報告する。函館地区サッカー協規律委員会の決定を受け、各チーム及び選手へ決定を伝え、決定事項を執行する。
- 19 帯同審判員 ① 出場チームは公益財団法人日本サッカー協会審判員（4級以上）を帯同させること。
- ② 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。なお、監督が帯同審判を兼ねてもよい。また、参加申込書に記載されていない同一チーム内の他の指導者、保護者が審判業務を行ってもよい。
- 20 開会式 行わない。
- 閉会式 代表決定戦・順位決定戦終了後、同会場で行う。
- 21 その他 ① 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの出場を停止する。
- ② 荒天、震災、雷等、不測の事態が発生した場合は、実行委員会において協議のうえ対処する。中断、中止することがあることを留意のこと。
- ③ 選手の保護者。チーム関係者のマナーの遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内でのすべての言動、ゴミ等）については、当該チームの責任とする。
- ④ 大会要項に規定されていない事項については、4種委員長、4種副委員長、大会担当者において協議のうえ決定する。
- 22 シード権 今大会優勝チームには第26回全日本少年フットサル大会函館地区予選大会のシード権を与える。
また、次年度開催の第48回道新スポーツ旗全道サッカー少年団大会函館地区予選のシード権を与える。
- 23 選手登録 別添ファイル（選手名簿）をEメールにてu12@fa-hakodate.jp 小川までお願いします。
- トラック杯との選手・指導者の二重登録は認めない。
- 申込期日 8月7日（日）17:00まで。 期限厳守
- 24 その他 試合結果はその日のうちに大会担当者《阿部》に連絡すること。
大会担当者 阿部 伸郎
E-mail: nabe22@sea.ncv.ne.jp 携帯: 090-8639-9345
- 25 参加料 14000円